

## 平成25年度日本NGO連携無償資金協力署名式典

3月7日（金）、平成25年度日本NGO連携無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、隈丸優次特命全権大使と公益財団法人国際開発救援財団のカンボジア事務所長高橋明美所長が、「コンポンチュナン州農村開発事業」（供与限度額：348、358米ドル）案件の贈与契約書に署名を行ないました。



本案件では、全国24行政区のうち2番目に貧困世帯の割合が高いコンポンチュナン州の中で、特に食料不足が深刻であるロレイアッピア郡及びボリボー郡において事業が実施されます。農業と保健双方からのアプローチにより、貧困削減と栄養不足改善を目指す本案件は非常に重要であり、この事業を通じて、対象地域の住民が自らの手で収入と栄養源を確保し、カンボジアにおける新たな農村開発のモデルケースとなることが期待されています。

式典では隈丸大使がスピーチを行ない、コンポンチュナン州農業局とボリボー保健行政区の協力のもとに、行政と住民が一体となった取り組みが推進されることを期待していると述べました。続いて、高橋カンボジア事務所長が日本国民及び政府への感謝の意を表明し、関係各位並びにカンボジアの人々と協力して、対象地域の貧困削減に励むことが約束されました。スピーチの後、隈丸大使と関係者全員による記念撮影が行なわれ、式典は和やかな雰囲気の下に終わりました。

